

問

大湯地区にスーパー等を誘致できないか。

答

中心市街地の花輪地区においてもスーパーマーケットが撤退している状況下では、立地の実現は難しいと考えている。



大湯地区の活性化について

問

大湯保育園の運営を継続させることはできないか。

答

少子化による定員割れが予想される中、経営する法人において将来的な状況を鑑み閉園を判断された。

大湯保育園を利用している園児に対する保育の維持確保を最優先と捉え、他地区の保育園も利用できるよう入園整備を図っていく。小規模保育事業については国による検討がされており、制度の詳細を確認していく。

鳥獣対策について

問

銃猟免許等の取得費用と取得後の維持経費は。

答

免許取得費用については、県と市で全額支援している。銃及び保管庫、附属品等の購入費は10万円ほどと聞いており、その後の維持や狩猟者登録料など、その他の経費については年間10万円程度が必要となる。

花輪線の利用促進について

問

統合する鹿角高校へ通学する生徒への支援は。

答

支援の必要性については検討を重ねているが、高校側からは鹿角花輪駅と校舎間のバス運行の確保を求められており、支援策の検討を進めている。

質問した項目

- 鳥獣対策について ■鹿角市の農業について
- 大湯地区の活性化について
- 甲岳台展望台への林道整備事業について
- JR花輪線の利用促進について（統合校通学生への支援について）

湯瀬 誠喜 議員

（鹿山会）

質問時間 45分



録画配信はこちらから

問

第4回脱炭素先行地域の選定において、本市の公募内容と採択の結果はどうだったか。

答

今回は採択に至らなかった。独自の地域課題解決策を再考し、再エネ設備投資の実現可能性を高めるため、地域内の合意形成に努めている。



3歳以上の保育園児等への主食提供に関して

問

本市と人口規模の近い栃木県那須町では、令和4年度から保育園児への主食提供を開始しており、その状況を視察してきた。

保育士の負担増加やフードロスはほとんどなく、導入経費についても、食器等購入などに37万円、年間委託料として新たに30万円ほどのことから、実施に向けた議論は、一人当たり千円ほどの食料費負担のあり方のみと考えるがどうか。

答

市内の保育所等、全9施設において主食提供を実施するための初期費用を、約380万円と試算している。

そのほか、維持管理費については、米代のほか、人件費及び光熱水費等の経費で、年間で約1千3百万円を見込み、園児1人当たり月額約3千円と試算している。

食料費等の負担の考え方については、本市独自に、副食費の実費負担を完全無償化している中で、保護者に対し、新たに実費負担を求めるか、無償とするかについては、今後の新年度予算編成の中で検討を進める。

質問した項目

- 鹿角市における公共交通とライドシェアに関して
- 地域づくりミーティングについて ■除排雪経費に関して
- 3歳以上の保育園児等への主食提供に関して
- 保育現場の取り組みについて ■小中学校給食でのフードロス削減と業務プロセスのDXについて ほか

笹本 真司 議員

（無会派）

質問時間 60分

一般質問

笹本真司議員（無会派）



録画配信はこちらから